

【保育の本質・目的の理解に関する科目】 [現行]

| | |
|--|---|
| <科目名> 保育原理 (講義・4単位) | |
| <目標> | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の意義について明確な認識をもたせ、その依拠する原因を理解させる。 2. 保育の場について、その歴史と類型について理解させる。 3. 保育所における保育の原理と特性、環境、方法について理解させる。 4. 発達過程に応じた保育について理解させる。 5. 保育所における保育の健康・安全について理解させる。 6. 保育所における多様な保育ニーズについて理解させる。 7. 保育所と家庭、地域との連携について理解させる。 8. 保育所における相談援助の基本原則と実践について理解させる。 9. 保育所における自己評価について理解させる。 | |
| <内容> | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の本質 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育の意義とその思想 (2) 保育の目標 (3) 子どもの発達特性 (4) 保育の原理 2. 保育の場 <ol style="list-style-type: none"> (1) 家庭 (2) 保育施設 (3) 家庭的保育 3. 保育の歴史と現状 4. 保育所保育の原理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育の特性 (2) 保育の目標 (3) 保育の方法 (4) 保育の環境 5. 保育所保育の内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育の内容構成の基本方針 (2) 養護に関わるねらい及び内容 (3) 教育に関わるねらい及び内容 6. 保育所保育の計画 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育の計画作成上の基本的視点 (2) 保育課程と指導計画 (3) 保育の計画作成上の留意事項 | <ol style="list-style-type: none"> 7. 発達過程に応じた保育と指導計画 <ol style="list-style-type: none"> (1) 3歳未満児の保育と指導計画 (2) 3歳以上児の保育と指導計画 8. 保育所の健康・安全上の留意事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康上の留意事項 (2) 安全上の留意事項 9. 多様な保育ニーズへの対応上の留意事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 入所児童の多様な保育ニーズへの対応 (2) 地域における子育て支援 10. 子育てに関する相談援助活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子育て支援ニーズと相談援助活動 (2) 相談援助の基本原則 (3) 保育所における相談援助活動 (4) 地域における相談援助ネットワーク 11. 保育所における自己評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育士の自己評価 (2) 保育所の自己評価 (3) 職員の研修と資質の向上 12. 家庭、地域との連携 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育における連携の意味 (2) 家庭との連携 (3) 幼稚園・小学校との連携 13. 保育士の資質と任務 |

【保育の本質・目的に関する科目】 [改訂案]

| | |
|--|--|
| <科目名> 保育原理 (講義・2単位) ※単位数減少 | |
| <目標> | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の意義について理解する。 2. 保育所保育指針における保育の基本について理解する。 3. 保育の内容と方法について理解する。 4. 保育の思想と歴史の変遷について理解する。 5. 保育の現状と課題について考察する。 | |
| <内容> | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の意義 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育の理念と概念 (2) 子どもの最善の利益を考慮した保育 (3) 保護者との協働 (4) 保育の社会的意義 2. 保育所保育指針における保育の基本 <ol style="list-style-type: none"> (1) 養護と教育の一体性 (2) 環境を通して行う保育 (3) 発達過程に応じた保育 (4) 保護者との緊密な連携 (5) 倫理観に裏付けられた保育士の専門性 3. 保育の目標と方法 <ol style="list-style-type: none"> (1) 未来をつくりだす力の基礎を培う (2) 生活と遊びを通して総合的に行う (3) 保育における個と集団への配慮 4. 保育の思想と歴史の変遷 <ol style="list-style-type: none"> (1) 諸外国の保育の思想と歴史 (2) 日本の保育の思想と歴史 5. 保育の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 諸外国の保育の現状と課題 (2) 日本の保育の現状と課題 | |

【保育の本質・目的の理解に関する科目】

| |
|---|
| <p><科目名> 教育原理 (講義・2単位)</p> |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義・目的及び児童福祉との関連性について理解させる。 2. 教育の基礎的概念、理論、歴史について学び、教育に関する体系的知識を習得させる。 3. 教育の制度と基本的な実践原理及び指導原理について理解させる。 4. 生涯学習社会における教育の在り方について考える。 5. 教育学的な思考や態度を習得させる。 |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義、目的及び児童福祉との関連性 <ol style="list-style-type: none"> (1)教育の意義と目的 (2)教育と児童福祉の関連性 2. 教育の基礎的概念と諸理論 <ol style="list-style-type: none"> (1)諸外国の教育理論 (2)日本の教育理論 (3)幼児教育の理論 3. 教育の歴史 <ol style="list-style-type: none"> (1)諸外国の教育史 (2)日本の教育史 (3)子ども観と教育観の変遷 4. 教育の制度 <ol style="list-style-type: none"> (1)教育制度の基礎 (2)教育法規・教育行政の基礎 (3)諸外国の教育制度 5. 教育の実践 <ol style="list-style-type: none"> (1)教育の内容 (2)教育の方法 (3)教育指導の原理と形態 6. 生涯学習社会における教育 <ol style="list-style-type: none"> (1)生涯学習の基礎 (2)生涯学習社会における教育 7. 現代の教育問題 |

【保育の本質・目的に関する科目】

| |
|--|
| <p><科目名> 教育原理 (講義・2単位)</p> |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義、目的及び児童福祉との関わりについて理解する。 2. 教育の思想と歴史について学び、教育に関する体系的知識を習得する。 3. 教育の制度について理解する。 4. 教育実践のさまざまな取り組みについて理解する 5. 生涯学習社会における教育の課題について理解する。 |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義、目的及び児童福祉との関連性 <ol style="list-style-type: none"> (1)教育の意義 (2)教育の目的 (3)教育と児童福祉の関連性 2. 教育の思想と歴史の変遷 <ol style="list-style-type: none"> (1)諸外国の教育思想と歴史 (2)日本の教育思想と歴史 (3)子ども観と教育観の変遷 3. 教育の制度 <ol style="list-style-type: none"> (1)教育制度の基礎 (2)教育法規・教育行政の基礎 (3)諸外国の教育制度 4. 教育の実践 <ol style="list-style-type: none"> (1)教育実践の基礎理論—内容、方法、計画と評価 (2)教育実践の多様な取り組み 5. 生涯学習社会における教育の課題 <ol style="list-style-type: none"> (1)生涯学習社会と教育 (2)現代の教育課題 |

【保育の本質・目的に関する科目】

| |
|--|
| <p><科目名> 児童福祉（講義・2単位）</p> |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉の意義及び歴史的展開過程について理解させる。 2. 児童福祉の法律、制度、福祉機関・施設を体系的に理解させる。 3. 児童福祉サービスの現状と課題を理解させる。 4. 児童福祉の専門職としての保育士の役割を理解させる。 5. 児童、家族に対する相談援助活動について理解させる。 |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉の意義とその歴史的展開 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童福祉の概念 (2) 児童福祉の理念 (3) 現代社会と児童 2. 児童福祉に関する制度と福祉機関・施設 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童福祉に関する法律 (2) 児童福祉の制度 (3) 児童福祉の機関 (4) 児童福祉の施設 (5) 児童福祉の費用 3. 児童福祉の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 少子化と子育て支援サービス (2) 健全育成 (3) 母子保健 (4) 保育 (5) 養護と虐待の防止 (6) 障害児 (7) 少年非行・情緒障害 (8) ひとり親家庭 (9) 現代の児童福祉の課題と展望 (10) 諸外国の現状 4. 児童福祉の実践と児童福祉従事者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童福祉の専門職 (2) 児童福祉の専門援助技術 (3) 児童福祉サービス関連機関との連携 5. 相談援助活動 |

【保育の本質・目的に関する科目】

| |
|---|
| <p><科目名> 児童家庭福祉（講義・2単位）※科目名変更</p> |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における児童家庭福祉の意義と保育との関わりについて理解する。 2. 児童家庭福祉の理念と概念について理解する。 3. 児童家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 4. 児童家庭福祉の現状と課題について理解する。 5. 児童家庭福祉の動向と展望について理解する。 |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童家庭福祉と保育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童家庭福祉の一分野としての保育 (2) 子どもの人権擁護と児童家庭福祉 2. 現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史の変遷 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童家庭福祉の理念と概念 (2) 児童家庭福祉の歴史の変遷 (3) 現代社会と児童家庭福祉 3. 児童家庭福祉の制度と実施体系 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童家庭福祉の制度と法体系 (2) 児童家庭福祉行財政と実施機関 (3) 児童福祉施設等 (4) 児童家庭福祉の専門職・実施者 4. 児童家庭福祉の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 少子化と子育て支援サービス (2) 児童の健全育成と母子保健 (3) 社会的養護と児童虐待防止 (4) 少年非行と情緒障害等への対応 (5) 多様な保育ニーズへの対応 5. 児童家庭福祉の動向と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次世代育成支援と児童福祉の推進 (2) 保健・医療・保育・療育・教育等との連携とネットワーク (3) 諸外国の動向 |

【保育の本質・目的に関する科目】

<科目名> 社会福祉 (講義・2単位)

<目標>

1. 現代社会における社会福祉の意義、理念について理解させる。
2. 社会福祉の法体系、制度及び行財政の要旨を理解させる。
3. 社会福祉サービス体系における公私の役割活動について理解させる。
4. 社会福祉援助技術及び福祉専門職の役割について理解させる。
5. 社会福祉の関連領域－医療福祉・地域福祉・ボランティア活動の概要を把握させる。
6. 現代における利用者保護制度(第三者評価、苦情解決、権利擁護、情報提供等)を理解させる。

<内容>

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 現代社会と社会福祉の意義 | 5. 社会福祉の動向 |
| (1) 社会福祉の理念と概念 | (1) 少子高齢社会への対応 |
| (2) 社会福祉の対象と主体 | (2) 在宅福祉・地域福祉の推進 |
| (3) 社会福祉ニーズの変容 | (3) 社会福祉基礎構造改革の進展 |
| (4) 社会福祉の発展 | (4) ボランティア活動の推進 |
| 2. 社会福祉の法体系と実施体系 | (5) 諸外国の動向 |
| (1) 社会福祉法制の体系 | 6. 利用者保護制度の概要 |
| (2) 社会福祉のサービス実施体系 | (1) 第三者評価 |
| (3) 社会福祉サービスの評価と情報提供 | (2) 苦情解決 |
| (4) 社会福祉の財政と費用負担 | (3) 権利擁護 |
| (5) 社会福祉サービスにおける公私の役割 | (4) 情報提供 |
| (6) 社会保障及び関連制度の概要 | |
| 3. 社会福祉援助技術の概要 | |
| (1) 社会福祉援助技術の発展経緯 | |
| (2) 社会福祉援助技術の形態と方法 | |
| (3) 社会福祉援助活動の動向 | |
| 4. 社会福祉専門職 | |
| (1) 社会福祉従事者の概要 | |
| (2) 社会福祉従事者の専門性と倫理 | |
| (3) 保健・医療関係分野の専門職との連携 | |

【保育の本質・目的に関する科目】

<科目名> 社会福祉 (講義・2単位)

<目標>

1. 現代社会における社会福祉の意義と児童家庭福祉との関わりについて理解する。
2. 社会福祉の理念と概念について理解する。
3. 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。
4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。
5. 社会福祉の動向と課題について理解する。

<内容>

1. 社会福祉と児童家庭福祉
 - (1) 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉
 - (2) 子どもの人権擁護と社会福祉
 - (3) 家庭支援と社会福祉
2. 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷
 - (1) 社会福祉の理念と概念
 - (2) 社会福祉の歴史的変遷
3. 社会福祉の制度と実施体系
 - (1) 社会福祉の制度と法体系
 - (2) 社会福祉行財政と実施機関
 - (3) 社会福祉施設等
 - (4) 社会福祉の専門職・実施者
 - (5) 社会保障及び関連制度の概要
4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み
 - (1) 情報提供と第三者評価
 - (2) 利用者の権利擁護と苦情解決
5. 社会福祉の動向と課題
 - (1) 少子高齢化社会への対応
 - (2) 在宅福祉・地域福祉の推進
 - (3) 保健・医療・保育・療育・教育等との連携とネットワーク
 - (4) 諸外国の動向

【保育の本質・目的の理解に関する科目】

| |
|--|
| <p><科目名> 養護原理 (講義・2単位)</p> |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景などを理解させる。 2. 社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割について理解させる。 3. 児童福祉施設などにおける養護の実態を理解させる。 4. 児童福祉施設援助者としての保育士の役割や援助について理解させる。 5. 児童観や施設養護観を養う。 |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童養護の概念 <ol style="list-style-type: none"> (1) 家庭や社会の役割 (2) 社会的養護を必要とする子どもたち (3) 児童養護の歴史 (4) 児童養護の体系 家庭、施設、里親 2. 施設における児童養護 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設養護の特質 (2) 施設養護の基本原則 個別化、親子関係の尊重と調整、集団の活用 3. 施設養護の実態 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日常生活及び自立に向けての援助 (2) 治療的・支援的援助(心の傷を癒したり、心を育むための、また障害を支えるための援助) (3) 親子関係・学校・地域などとの関係調整 4. 児童福祉施設の運営・管理と援助者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 援助(養護)の理念 (2) 児童福祉施設の運営・管理 (3) 児童福祉施設援助者としての資質 (4) 個別援助技術や集団援助技術などの専門援助技術 (5) スーパービジョンとチームワーク (6) 倫理の確立 5. 今後の課題 |

【保育の本質・目的に関する科目】

| |
|---|
| <p><科目名> 社会的養護 (講義・2単位) ※科目名変更</p> |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における社会的養護の意義と児童家庭福祉や保育との関わりについて理解する。 2. 社会的養護の理念と概念について理解する。 3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 4. 社会的養護における子どもの人権擁護及び自立支援等について理解する。 5. 社会的養護の現状と課題について理解する。 |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的養護と児童家庭福祉 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童家庭福祉の一分野としての社会的養護 (2) 児童の権利擁護と社会的養護 2. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷 <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会的養護の理念と概念 (2) 社会的養護の歴史の変遷 3. 社会的養護の制度と実施体系 <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会的養護の制度と法体系 (2) 社会的養護の仕組みと実施体系 (3) 家庭的養護と施設養護 (4) 社会的養護の専門職・実施者 4. 施設養護の実態 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設養護の基本原則 (2) 施設養護の実態 (3) 施設養護とソーシャルワーク 5. 社会的養護の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設等の運営管理 (2) 倫理の確立 (3) 社会的養護と地域福祉 |

| |
|--|
| |
| |

【保育の本質・目的に関する科目】

<科目名> 保育者論（講義・2単位） ※新設

<目標>

1. 保育士の役割と倫理について理解する。
2. 保育士の制度的な位置づけを理解する。
3. 保育士の専門性について考察し、理解する。
4. 保育士のキャリア発達について理解する。
5. 保育士の協働について理解する。
6. 保育士としてのアイデンティティ

<内容>

1. 保育士の役割と倫理
 - (1) 保育士の役割
 - (2) 保育士の倫理
2. 保育士の制度的位置づけ
 - (1) 保育士の資格
 - (2) 保育士の要件
 - (3) 保育士の責務
3. 保育士の専門性
 - (1) 保育の特性
 - (2) 保育士の資質
 - (3) 保育士の専門性
 - (4) 保育の省察
4. 保育士のキャリア発達
 - (1) 保育士としての成長
 - (2) 人間としての成長
5. 保育士の協働
 - (1) 保育士同士の協働
 - (2) 他の専門職及び専門機関との協働
 - (3) 保護者及び地域社会との協働
6. 保育士としてのアイデンティティ
 - (1) 自己の省察
 - (2) 保育士としてのアイデンティティ

【保育の対象の理解に関する科目】

| |
|---|
| <p><科目名> 発達心理学 (講義・2単位)</p> |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育は子どもがよき大人に発達するように援助する営みである。その子どもの発達について理解させる。 2. 人間の受精・誕生から死までの発達を理解させる。 3. 発達期の特徴を理解させる。 4. 子どもの将来に影響を及ぼす保育士と子どもとの連鎖的関係を理解させる。 5. 「保育所保育指針」の発達項目を理解させる。 |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達心理学の方法と考え方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 何のために発達心理学を学ぶか (2) 一人一人の子どもの発達を正確にとらえる必要性を理解させる。 (3) 人間の発達を生涯発達の視点からとらえ、それぞれの「発達段階」を理解させる。 2. 初期経験の重要性 <ol style="list-style-type: none"> (1) 知能・性格・感情の基本を形成する乳幼児期の経験について理解させる。 (2) 野生児の事例、動物実験の事例から発達の課題について理解させる。 3. 発達期の特徴 <ol style="list-style-type: none"> (1) 胎児期 (2) 新生児期 (3) 乳児期 (4) 幼児期 (5) 児童期 (6) 青年期 (7) 成人期から老人期 4. 乳幼児期における発達援助のあり方(保育所保育指針の発達項目) <ul style="list-style-type: none"> 保育原理2-(4)へ 保育実習 I 3-(2)へ 保育内容総論3-(1)(2)へ |

【保育の対象の理解に関する科目】

| |
|--|
| <p><科目名> 保育心理学 I (講義・2単位) ※新設</p> |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実践に関わる心理学の知識を習得する。 2. 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。 3. 子どもの心の健康障害や精神保健について理解する。 4. 生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育との関連を考察する。 |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育と心理学 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの心の理解と発達観・保育観 (2) 自我と自己認識の発達 (3) 子どもの遊びと学び 2. 発達の理論と子どもへの理解 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの発達と環境 (2) 発達の理解と診断 (3) 身体的機能と運動機能の発達 (4) 知覚・認知・思考の発達 (5) 言語の発達 (6) 社会性の発達 3. 子どもの精神保健 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの生活環境と精神保健 (2) 子どもの心の健康障害 (3) 保育実践と精神保健 4. 生涯発達と初期経験の重要性 <ol style="list-style-type: none"> (1) 胎児期及び新生児期の発達 (2) 乳児期の発達 (3) 幼児期の発達 (4) 学童期の発達 (5) 青年期、成人期、老年期の発達 (6) 生涯発達と保育 |

【保育の対象の理解に関する科目】

| | |
|--|--|
| <p><科目名> 教育心理学 (講義・2単位)</p> | |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 養護とともに保育を構成する要素としての教育の過程における心理学的法則や事実の理解及び、より効果的な保育を展開するために教育心理学の基本的事項について理解させる。 2. 生涯発達の観点により幼児期から青年期までの保育と教育の関連を把握できるようにするとともに、子ども一人一人の発達に対応した教育的対応についての理解を深めさせる。 3. 子育て支援の一環としての保育における教育的要素に関する相談に対応できる能力を養成する。 | |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育心理学とは何か <ul style="list-style-type: none"> (1)教育心理学とは何か (2)保育における教育心理学 → 保育心理学 I 1へ (3)教育心理学の方法 2. 発達 <ul style="list-style-type: none"> (1)生涯発達の発達観 → 保育心理学保育 I 4-(6)へ (2)発達段階と個人差 (3)発達課題と個人差 → 障がい児保育へ 3. 学習 <ul style="list-style-type: none"> (1)学習の過程 (2)学習の理論 4. 知的能力と人格 <ul style="list-style-type: none"> (1)知能と学力 (2)知能の測定 → 保育心理学 I 2-(2)へ (3)知能と創造性 5. 集団と個人 <ul style="list-style-type: none"> (1)保育における集団と個人 (2)集団の種類と構造 (3)集団の役割とその指導 | |

【保育の対象の理解に関する科目】

| | |
|---|--|
| <p><科目名> 保育心理学Ⅱ (演習・1単位) ※新設</p> | |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個と集団における子どもの心身の発達と保育実践について学ぶ。 2. 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する。 3. 発達援助とカウンセリングマインドについて学ぶ。 | |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個と集団における子どもの発達 <ul style="list-style-type: none"> (1)個人差や発達過程に応じた保育 (2)子どもと保育者の関係性 (3)子ども相互の関わりと関係作り (4)自己主張と自己統制 (5)集団づくりと保育の環境 2. 生活や遊びと学びの過程 <ul style="list-style-type: none"> (1)子どもの生活と学び (2)子どもの遊びと学び 3. 発達援助とカウンセリングマインド(保育における発達援助) <ul style="list-style-type: none"> (1)基本的な生活習慣の習得と発達援助 (2)自己の主体性の形成と発達援助 (3)発達課題に応じた援助と関わり (4)就学への支援と発達の連続性 (5)保育臨床における発達援助 (6)現代社会における子どもの発達と保育の課題 | |

【保育の対象の理解に関する科目】

<科目名> 小児保健（講義・実習 5単位）

<目標>

1. 生命の保持と情緒の安定を図る保育における小児の健康の意味を認識し、保育実践における保健活動の重要性を理解させる。
2. 今日、発生している小児の心身の健康問題の原因が、養育環境や養育方法に有ることを認識し、それらの問題に適切に対処できるようにさせる。
3. 小児の健康状態を、個人生活と保育生活等の集団生活のレベルで理解させる。
4. 小児の疾病異常や事故の特徴とその予防について理解し、さらに緊急時の基礎的対応を可能にさせる。
5. 小児の健康が家庭や地域との密接な関係があることを認識し、家庭や地域との連携を通じた保健活動の重要性を理解させる。

<内容>

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の健康と小児保健の意義と目的 <ol style="list-style-type: none"> (1)小児の健康の定義と健康に影響する要因 (2)小児の健康と保育との関係 (3)小児の健康と家庭・地域の関連 (4)小児の健康指標と小児保健水準 2. 小児の発育・発達と生活の支援 <ol style="list-style-type: none"> (1)身体発育の特徴とその評価 (2)精神運動機能発達の特徴とその評価 (3)生理機能と小児の生活 (4)発育・発達を促す保育の実際 3. 小児の食生活と栄養 <ol style="list-style-type: none"> (1)小児の栄養の意義 (2)小児各時期の食生活の実際 4. 心身の健康増進の意義とその実践 <ol style="list-style-type: none"> (1)小児各時期の健康づくりの意義 (2)小児各時期の健康づくりの実践 5. 小児の疾病とその予防対策 <ol style="list-style-type: none"> (1)小児期の健康状態の評価 (2)小児の疾病の特徴と小児期に多く見られる疾病 (3)心身の状態と保育現場に必要な応急処置 (4)予防接種 (5)養育上問題と心身の健康 (6)疾病異常と支援体制 | <ol style="list-style-type: none"> 6. 事故と安全対策 <ol style="list-style-type: none"> (1)小児の事故の特徴 (2)事故と心身の被害と救急処置 (3)事故防止対策と安全教育 (4)事故や災害と精神保健 7. 児童福祉施設における保健対策 <ol style="list-style-type: none"> (1)児童福祉施設における保健活動の基本的方針 (2)各種の児童福祉施設の特徴と健康管理の実際 (3)保健活動における連携 8. 母子保健対策と保育 <ol style="list-style-type: none"> (1)地域・母子保健の意義 (2)母子保健サービスの実際 (3)母子保健サービスと保育との連携 |
|--|---|
- 児童の保健
II-4

児童の保健
II-3

【保育の対象の理解に関する科目】

<科目名> 児童の保健 I（講義・4単位）※科目名変更

<目標>

1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
2. 子どもの身体発育や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。
3. 子どもの心身の疾病等と適切な対応について理解する。
4. 保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解する。
5. 施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について学ぶ。

<内容>

1. 子どもの健康と保健の意義
 - (1)生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的
 - (2)健康の概念と健康指標
 - (3)地域における保健活動と児童虐待防止
2. 子どもの発育・発達と保健
 - (1)生物としてのヒトの成り立ち
 - (2)身体発育と保健
 - (3)生理機能の発達と保健
 - (4)運動機能の発達と保健
 - (5)精神機能の発達と保健
3. 子どもの疾病と保育
 - (1)子どもの健康状態の把握と主な疾病の特徴
 - (2)子どもの疾病の予防
 - (3)保育における看護と応急処置
4. 環境及び衛生管理並びに安全管理
 - (1)保育環境整備と保健
 - (2)保育現場における衛生管理
 - (3)保育現場における事故防止及び安全対策並びに危機管理
5. 健康及び安全の実施体制
 - (1)職員間の連携と組織的取組
 - (2)母子保健対策と保育
 - (3)家庭・専門機関・地域との連携

【保育の対象の理解に関する科目】

| | |
|--|--|
| <p><科目名> 精神保健 (講義・2単位)</p> | |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の精神発達の様相とそれを促す適切な保育のあり方を理解させる。 2. 虐待、いじめ等の心の健康障害の実態を認識し、保育における適切な対処のあり方について理解させる。 3. 単に精神医学的対応のみならず、小児各時期の健全育成を基盤とした保育の必要性を理解させる。 4. 小児の心の健康に関して家庭・地域・保育の連携の重要性を理解させる。 | |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の精神機能発達と精神保健 <ul style="list-style-type: none"> (1) 精神発達と脳神経系器官の成熟 → 児童の保健 Iの2-(5)へ (2) 心の健康に影響する要因 2. 小児の生活環境と精神保健 <ul style="list-style-type: none"> (1) 家族関係と小児期の精神保健 (2) 文化・教育環境と小児期の精神保健 (3) 社会環境と小児期の精神保健 } 保育心理学 I の3へ 3. 小児各時期の精神保健 <ul style="list-style-type: none"> (1) 身体と精神保健の関係 (2) 乳児期の精神保健 (3) 幼児期の精神保健 (4) 学齢期の精神保健 (5) 思春期の精神保健 } 保育心理学 I の4へ 4. 小児の心の健康障害 <ul style="list-style-type: none"> (1) 小児各時期の精神障害の特徴 (2) 心の健康障害と小児の養育のあり方 } 児童家庭福祉4-(2)(3)(4) 障がい児保育 家庭支援論3、4の関連 5. 小児期の精神保健活動 <ul style="list-style-type: none"> (1) 精神医学と保育の連携 (2) 子育て支援対策と心の健康づくり (3) 児童福祉施設における心のケア (4) 地域精神保健活動と保育 | |

【保育の対象の理解に関する科目】

| | |
|---|--|
| <p><科目名> 児童の保健Ⅱ (演習・2単位)</p> | |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの健康及び安全に係る保健活動の計画及び評価を行う。 2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境を考える。 3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について具体的に学ぶ。 4. 救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に学ぶ。 5. 現代社会における心の健康問題や、地域保健活動等について理解する。 | |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健活動の計画及び評価 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健計画の作成と活用 (2) 保健活動の記録と自己評価 (3) 子どもの保健に係る個別対応と子ども集団全体の健康と安全・衛生管理 2. 子どもの保健と環境 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健における養護と教育の一体性 (2) 子どもの健康増進と保育の環境 (3) 子どもの生活習慣と心身の健康 (4) 子どもの発達援助と保健活動 3. 子どもの疾病と適切な対応 <ul style="list-style-type: none"> (1) 体調不良や傷害が発生した場合の対応 (2) 感染症の予防と対策 (3) 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応(慢性疾患、アレルギー性疾患等) (4) 乳児への適切な対応 (5) 障がいのある子どもへの適切な対応 4. 事故防止及び健康安全管理 <ul style="list-style-type: none"> (1) 事故防止及び健康安全管理に関する組織的取組 (2) 救急処置及び救急蘇生法の習得 (3) 災害への備えと危機管理 5. 心とからだの健康問題と地域保健活動 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子どもの養育環境と心の健康問題 (2) 心とからだの健康づくりと地域保健活動 | |

【保育の対象の理解に関する科目】

<科目名> 小児栄養 (演習・2単位)

<目標>

1. 小児期の栄養と食生活は生涯にわたる健康と生活の基礎であることを理解し小児期から成人にいたる一貫した食生活の意義を理解させる。
2. 保育者として、保育との関連のなかで、小児に適切な食事が提供できることの意義を理解させる。
3. 保育者として、保育における食生活が心の健康にも影響することを理解させる。
4. 食生活が、家族の健康や生活、地域との密接な関係があることを理解させる。
5. 食生活を通じて、生活全般や環境の望ましい姿を理解させる。

<内容>

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の健康な生活と食生活の意義 <ol style="list-style-type: none"> (1)小児の心身の健康や生活と食生活の関係 (2)家庭・地域における食生活の実態と小児の食生活 2. 小児の発育・発達と食生活 <ol style="list-style-type: none"> (1)身体発育・精神運動機能発達と栄養・食生活 (2)食べる機能・消化吸収機能発達と栄養・食生活 3. 栄養に関する基本的知識 <ol style="list-style-type: none"> (1)栄養素、栄養生理、代謝に関する基本的知識 (2)栄養所要量の意義とその活用 (3)小児の集団生活と献立作成・調理の基本 (4)栄養状態の評価 4. 妊娠・授乳期の食生活 <ol style="list-style-type: none"> (1)妊娠のメカニズムと正常な妊婦の食生活 (2)母乳分泌と母乳分泌促進の食生活 (3)妊娠・分娩の異常と食生活 (4)胎児と食生活 5. 乳児期の食生活 <ol style="list-style-type: none"> (1)乳児期の心身の特徴と食生活の関係 (2)乳児栄養(母乳栄養・人工栄養・混合栄養) (3)離乳の意義とその実践 (4)乳児期の栄養上の問題と健康への対応 6. 幼児期の食生活 | <ol style="list-style-type: none"> (1)幼児期の心身の特徴と食生活の関係 (2)幼児期の食生活の特徴とその実践 (3)間食の意義とその実践 (4)幼児期の栄養上の問題と健康への対応 7. 学齢期・思春期の食生活 <ol style="list-style-type: none"> (1)学齢期・思春期の心身の特徴と食生活 (2)学齢期・思春期の具体的な食生活 (3)学校給食と栄養教育 8. 小児期の疾病と食生活 <ol style="list-style-type: none"> (1)小児の疾病の特徴と食生活 (2)摂食障害と食生活のあり方 (3)症状別の食生活 (4)食事療法 (5)不適切な食生活と健康障害 9. 障害をもつ小児の食生活 <ol style="list-style-type: none"> (1)障害の特徴と食生活 (2)障害児の食生活の実際 10. 児童福祉施設における食生活 <ol style="list-style-type: none"> (1)児童福祉施設の特徴と食生活の基本 (2)児童福祉施設の給食の基本的方針 (3)食事による健康障害とその予防 (4)栄養・食生活に関する教育や指導 |
|---|---|

【保育の対象の理解に関する科目】

<科目名> 児童の食と栄養 (演習・2単位) ※科目名変更

<目標>

1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。
2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。
3. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化との関わりの中で理解する。
4. 家庭や施設における食生活の現状と課題について学ぶ。
5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。

<内容>

1. 子どもの健康と食生活の意義
 - (1)子どもの心身の健康と食生活
 - (2)子どもの食生活の現状と課題
2. 栄養に関する基本的知識
 - (1)栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能
 - (2)食事摂取基準と献立作成・調理の基本
3. 子どもの発育・発達と食生活
 - (1)乳児期の授乳・離乳の意義と食生活
 - (2)幼児期の心身の発達と食生活
 - (3)学齢期の心身の発達と食生活
 - (4)生涯発達と食生活
4. 食育の基本と内容
 - (1)食育における養護と教育の一体性
 - (2)食育の内容と計画及び評価
 - (3)食育のための環境
 - (4)地域の関係機関や職員間の連携
 - (5)食を通した保護者への支援
5. 家庭や施設における食事と栄養
 - (1)家庭における食事と栄養
 - (2)施設における食事と栄養
6. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養
 - (1)体調不良の子ども
 - (2)食物アレルギーのある子どもへの対応
 - (3)障がいのある子どもへの対応

【保育の対象の理解に関する科目】

<科目名> 家族援助論（講義・2単位）

<目標>

1. 保育所もつ「子育て支援」を重要な社会的役割として理解し、児童・親を含めた家族が保育の対象であることを理解させる。
2. 「子育て支援」は保育所だけでなく、その他の児童福祉施設の親についても同様に必要とされることを理解させる。
3. 現在の家族を取り巻く社会環境における家庭生活、とくにその人間関係（夫婦・親子・きょうだい）のあり方を理解すること及びそれをふまえて適切な「相談・助言」を行うことは「子育て支援」のために欠かせないものであることを理解させる。
4. 1～3を踏まえ、それぞれの家族のニーズに応じた多様な支援対策を提供するため、児童福祉の基礎となる家族の福祉を図るための種々の援助活動及び関係機関との連携について理解させる。

<内容>

1. 家族とは何か
 - (1) 家族の意味（定義）
 - (2) 家族の機能
2. 家族をとりまく社会的状況と支援体制
 - (1) 都市化
 - (2) 核家族化・少子化
 - (3) 男女共同参画社会の進展
 - (4) 家族の福祉を図るための社会資源
3. 今日における家族生活（家族関係）
 - (1) 夫婦関係（子どもから見た両親のあり方）
 - (2) 親子関係
 - (3) きょうだい関係
4. 「子育て支援」としての家族対応
 - (1) 「子育て」から見た家族の課題
 - (2) 子育て支援の意義
 - (3) 子育て支援サービスの範囲
 - (4) 「相談・助言」という「子育て支援」
 - (5) 虐待などへの対応
 - (6) 子育て支援サービスの課題
 - (7) 子育て支援サービスの具体的展開
 - (8) 子育て支援における関係機関との連携

【保育の対象の理解に関する科目】

<科目名> 家庭支援論（講義・2単位）※科目名変更

<目標>

1. 保育における家庭支援の意義と役割について学ぶ。
2. 子育て家庭を取り巻く社会的状況と支援体制について理解を深める。
3. 現代における家庭生活と地域社会の状況について理解を深める。
4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と関係機関との連携について理解する。

<内容>

1. 家庭支援の意義と役割
 - (1) 保育士が行う家庭支援の原理
 - (2) 子育て家庭の役割と機能
 - (3) 保育士の専門性と家庭支援
2. 子育て家庭を取り巻く社会的状況と支援体制
 - (1) 今日の社会と子育て家庭を取り巻く状況
 - (2) 男女共同参画社会とワークライフバランス
 - (3) 子育て家庭の福祉を図るための社会資源
 - (4) 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進
3. 現代社会における家庭生活と地域社会
 - (1) 家庭における人間関係
 - (2) 地域社会の変容と家庭支援
4. 多様な支援の展開と関係機関との連携
 - (1) 子育て支援サービスの概要
 - (2) 保育サービスの現状と課題
 - (3) 地域の子育て家庭への支援の実際
 - (4) 子育て支援における関係機関との連携
 - (5) 子育て支援サービスの課題

| |
|--|
| |
| |
| |

【保育の内容・方法に関する科目】

| |
|--|
| <p><科目名> 保育課程論(保育の計画と評価) (講義・2単位) ※新設</p> |
| <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設における保育の計画と評価に関する基本的視点を理解する。 2. 保育の根幹となる保育課程の編成と指導計画の作成について具体的に理解する。 3. 計画、実践、省察・評価、改善の過程についてその全体構造をとらえ、理解する。 |
| <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の計画と評価の基本 <ol style="list-style-type: none"> (1) カリキュラムの基礎理論 (2) 保育所における保育の計画と評価の意義 (3) 保育所以外の児童福祉施設における計画と評価の意義 (4) 計画、実践、省察・評価、改善の過程の循環による保育の質の向上 2. 保育所における保育の計画 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育所保育指針と幼稚園教育要領 (2) 保育課程と指導計画 (3) 保育課程の編成 (4) 指導計画(長期的・短期的)の作成と作成上の留意事項 3. 保育の計画の実際 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育課程の実際 (2) 指導計画の実際 4. 保育所における保育の評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育の記録の意義と実際 (2) 保育士及び保育所の自己評価 (3) 保育の計画の再編成 (4) 発達の連続性を踏まえた保幼小の連携と保育所児童保育要録 |

【保育の内容・方法の理解に関する科目】

<科目名> 保育内容 (演習・6単位)

<目標>

1. 「保育内容」とは、保育所において保育の目標を達成するために展開される全ての内容を意味するものであることを理解させる。
2. 領域別(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の教科の学びと共に、それらを総合的にとらえる視点を養い、保育の全体構造の理解に基づいて、子どもの理解や保育方法について学ばせる。
3. 保育士として、発達過程に即して子ども理解することと、総合的に指導・援助が行えるよう実践的な力を習得させる。
4. 「保育内容」は、5領域を視野に入れた教科(5領域に区分、5領域にとらわれず区分のいずれも可)と、それらの教科を統合する「保育内容総論」から構成されることが望ましい。

<内容>

1. 保育の基本と保育内容
 - (1) 保育の基本と内容・方法を理解させる
 - (2) 全体構造の中で保育内容をとらえる
2. 保育内容の歴史の変遷
3. 子どもの発達と保育内容
 - (1) 子どもの発達の捉え方と保育内容
 - (2) 保育所保育指針の発達観
 - (3) 保育所保育指針での保育内容の構成
 - ア 養護に関わるねらい及び内容
 - イ 教育に関わるねらい及び内容
 - ウ 養護と教育の一体性
4. 子どもの活動と保育環境・子どもの活動と援助
 - (1) 子どもの活動の捉え方と環境
 - (2) 保育の環境とは・環境構成とは
 - (3) 保育者の援助とは
 - (4) 遊びを通しての総合的指導とは
5. 保育の計画と評価
 - (1) 保育課程の編成
 - (2) 指導計画の作成
 - (3) 保育の展開と自己評価
6. 保育内容の課題
 - (1) 多様な保育ニーズへの対応と保育内容
 - (2) 幼稚園・小学校との連携
 - (3) 保育内容を学び・研究する保育者

【保育の内容・方法に関する科目】

<科目名> 保育内容総論 (演習・1単位) ※保育内容を分割

<目標>

1. 保育所保育指針における「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解するとともに、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。
2. 保育内容の歴史の変遷について学び、保育内容についての理解を深める。
3. 子どもや子ども集団の発達の特性や発達過程を踏まえ、観察や記録の観点を習得し、子どもへの理解を深める。
4. 子どもの生活全体を通して、養護(生命の維持、情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)が一体的となって展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。
5. 多様な保育の展開について具体的に学ぶ。

<内容>

1. 保育の基本と保育内容
 - (1) 保育所保育指針に基づく保育の基本及び保育内容の理解
 - (2) 保育の全体構造と保育内容
2. 保育内容の歴史の変遷
3. 子どもの発達過程と子ども理解
 - (1) 子どもの発達の特性と発達過程
 - (2) 保育における個と集団の発達
 - (3) 保育における観察と記録
4. 保育の基本を踏まえた保育内容の展開
 - (1) 養護と教育が一体となって展開する保育
 - (2) 遊びによる総合的な保育
 - (3) 環境を通して行う保育
 - (4) 生活や発達の連続性に考慮した保育
 - (5) 家庭、地域、小学校との連携を踏まえた保育
5. 多様な保育の展開
 - (1) 乳児保育
 - (2) 長時間の保育
 - (3) 特別な支援を必要とする子どもの保育
 - (4) 外国籍の子どもの保育

| |
|--|
| |
| |

【保育の内容・方法に関する科目】

<科目名> 保育内容演習 (演習・5単位)

<目標>

1. 保育内容総論で習得する事項を踏まえ、養護と教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持ち、総合的に保育が展開されていくための知識、技術、判断力を習得する。
2. 子どもの発達を「健康・人間関係・環境・言葉・表現」の5領域の観点から捉え、子ども理解を深めながら保育内容について具体的に学ぶ。

<内容>

- 以下の観点から、総合的に保育内容を理解する。
1. 子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わりである「養護」
 2. 子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助である「教育(健康、人間関係、環境、言葉及び表現の5領域)」
 - ①健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う「健康」の領域。
 - ②他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う「人間関係」の領域。
 - ③周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う「環境」の領域。
 - ④経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う「言葉」の領域。
 - ⑤感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする「表現」の領域